

# 福祉のひろば

12  
2011

特集

生きる

誰もが安全・安心な社会を創ろう  
第一七回社会福祉研究交流集会 in 京都



ひろばトーク

にしその しげみ  
国鉄労働組合大阪地区本部執行委員 **西蘭 重美さん**

安全・安心の鉄道輸送一問われている技術継承・安全問題

編集 総合社会福祉研究所

表紙写真は 10・28JDF大フォーラム  
「創ろう みんなの障害者総合福祉法を！」

住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の  
立場に立って設計しています。  
お気軽にご相談下さい。

## 京都建築事務所

〒 604-8083

京都市中京区三条柳馬場東入中之町10

代表取締役社長 川下 晃正

TEL (075) 211-7277

FAX (075) 211-7270

http://www.kyoto-archi.co.jp/

〒601-8382

京都市南区吉祥院石原上川原町21

http://www.creates-k.co.jp

クリエイツかもがわ



TEL 075 (661) 5741

FAX 075 (693) 6605

価格税込・送料何冊でも240円

●静岡方式はとてもシンプル、「どんな人でも働ける」という信念を、ただちに実行に移すだけ！  
**若者就労支援**

# 静岡方式マ 行ッラッ!!

地域で支える  
就労支援  
ハンドブック

NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡＋津富宏●編著  
定価2100円

すべての若者を受け入れ、支援は無償。  
拠点となる「場」を持たず、「ゴール(職場)へ一直線」:

多様な引き出しをもつ「素人(サポーター)」集団が緊密に連携、働けない若者を働く若者に変える！  
若者に寄り添う伴走型支援のノウハウをすべて明らかに。



## 医療的ケア はじめの二歩

介護職の「医療的ケアマニユアル」

増補改訂版

付録 DVD

「医療的ケア」  
実技研修の手引き

研修カリキュラムに準じた「基礎研修のテキストとして最適」  
NPO法人医療的ケアネット 医療的ケアの方法・対応は一人ひとりで異なる——法制化されても理解と支援の考え方は不変！

杉本健郎●編  
定価2310円

●書店では「かもがわ出版」発売の本とご注文ください。●

「応益負担」廃止！

障害者の声を聞き、総合福祉法をつくれ！

障害程度区分は、なくせ！

骨格提言、完全実施！

福祉の予算を増やせ！

障害者ぬきに、障害者のことを決めるな！

—10月13日、ストップ・ザ応益負担兵庫集会



創ろう。私たちの願いが叶った  
障害者総合福祉法を！

ストップ・ザ応益負担兵庫集会



障害者の  
人権を守ろう!

6回目となるストップ・ザ応益負担兵庫集会在10月13日、小雨の降る中、神戸市役所南側の東遊園地で開催されました。兵庫県では、障害者自立支援法が施行された2006年の11月に県庁前で第1回を開催しました。1回目は「やっぱりおかしい障害者自立支援法」。2回目は「それでもおかしい障害者自立支援法」と訴えてきました。障害の重い人ほど、負担も重くなる制度。金のない者から金を取る制度。「私たち抜きに、私たちのことを決めないで!」は、多くの市民に賛同が広がりました。



8月30日に障害者総合福祉法の骨格案が出されました。障害者自立支援法違憲訴訟での国と訴訟団の合意を踏まえて、さまざまな障害者団体等の代表が参加して論議してきた障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の到達です。今こそ、この骨格案を骨抜きにさせないたたかいが求められています。国民の運動に広げながら、障害者の尊厳を回復し、取り戻すために頑張らしましょう。(2・3面のコメントは、集会主催者代表の津田充幸<sup>つたつゆき</sup>さんのあいさつの抜粋です。)



井戸敏三兵庫県知事に、障害者総合福祉法の制定等を求める要請書を手渡しました。「私たちの願いが叶った障害者総合福祉法を制定すること。障害者総合福祉法の制定にあたり、障害者福祉制度を充実させるため地方自治体の財源を十分に確保すること。障害者総合福祉法の成立・施行を待つことなく、自立支援医療の低所得者の負担を0円にすることなど、応益負担（定率負担）は直ちに撤廃すること」という要請です。そして、三宮センター街やトアロードをバレードして、市民にも願いを伝えました。

（写真・文 下野祇園）

●特集● **生きる—誰もが安全・安心な社会を創ろう**

「第17回社会福祉研究交流集会 in 京都」からのメッセージ

基調報告	藤松 素子	9
分科会報告 [1] 生活保護改革と支援のあり方	吉永 純	14
[2] 介護保険法「改正」と私たち	小川 栄二	18
[3] インクルーシブな社会づくり	栗田 紀江	22
[4] 子どものいのち・そだち・まなびを	池添 素	26
[5] 福祉事業経営・福祉労働と政策動向	豊田 八郎	30
[6] 震災とまちづくり	後藤 至功	34

●トピックス●

早期療育につなげる発見と困難性	田中 一旭	40
第16回合宿研究会 in 岩手県遠野市のお知らせ		44

●連載●

フォーラム

原発ゼロも社会保障も憲法25条の視点で	細貝大二郎	46
---------------------	-------	----

ひとつのこと—社会福祉労働と私たちの実践

あさひ希望の里 重度の方たちの日中活動を豊かに	半野 依子	48
-------------------------	-------	----

相談室の窓から

こだわりの意味するもの	青木 道忠	50
-------------	-------	----

連載・小川政亮 第一部 父 恂臧(9)

小川 政亮	52
-------	----

わらじ医者 早川一光の「よろず診療所日誌」

私の地域医療 (その32)	早川 一光	56
---------------	-------	----

よりあって おりあって—宅老所よりあい物語—

父のその後	下村恵美子	58
-------	-------	----

育つ風景 卒業生

清水 玲子	60
-------	----

野口雨情—名作の底に流れるもの—

第9回 『重い車』	奈良 達雄	62
-----------	-------	----

映画案内 『春との旅』

吉村 英夫	64
-------	----

現代の貧困を訪ねて

貧困の「自己責任論」から「生活保護バッシング」へ	生田 武志	66
--------------------------	-------	----

地球へ途中下車 第4回 ロシアのいま

根津 眞澄	68
-------	----

私の研究ノート

ケアラー(介護する人)への社会的支援をめざして	福田 遊	70
-------------------------	------	----

ホームレスから日本を見れば

ありむら潜	72
-------	----

地域から現場から

公営住宅の無料修繕・修理を実現	佐藤 明人	73
-----------------	-------	----

花咲け! 男やもめ

川口モトコ	74
-------	----

福祉のひろば

2011年12月号

●表紙の絵と写真●

神門やす子

背景写真:10月28日(金)、東京・日比谷野外音楽堂で開催された日本障害フォーラム(JDF)の大フォーラムに、全国から1万人を超す人々が参加。「創ろう みんなの障害者総合福祉法を!」と訴えてパレードも行われました。(下野祇園)



●カット●  
川本 浩

# 安全・安心の鉄道輸送

## —問われている技術継承問題と安全問題

にしその しげみ  
西園 重美さん  
国鉄労働組合大阪地区本部執行委員

JR西日本は、一九八七年の発足時に約五万人いた社員が今では三万人を切るほどの規模なりストラを行ってきました。一〇七名の死者、五五〇名の負傷者を出した二〇〇五年の福知山線脱線事故は、JR西日本が進めてきた、安全より儲け第一の経営姿勢によって起き、今もその体質は変わりません。事故後も、線路・信号・車両などの保守・整備を行う職場の外注化を拡大し、駅を中心に社員から契約社員（一年ごとの雇用契約で最長五年の有期間労働者）へ置き換えるなど、効率化の名による「合理化」を推進しています。

今、線路や車両の保守・点検など鉄道固有の専門的能力の技術継承が困難になっています。これは、人件費抑制を目的に一九八二年度から一九九一年度までの一〇年間、新規採用を行わなかったこと、さらに多くのベテラン社員を辞めさせたことが大きな要因です。同時に、車両・線路・信号などの保守点検が外注化され、下請け労働者は、深夜に線路の保守作業を連続して行うなど、その労働条件は極めて劣悪です。走行する列車に接触して死亡するという痛ましい事故も発生しています。

また、「成果主義賃金制度」を導入し、競争を持ち込んだために、労働者が集団で仕事を担うべき職場に分断や孤立が起こり、鉄道の安全・安心を脅かしています。

「指令所」は、列車の運行を行う「心臓部」とも言える職場です。列車の遅れなどダイヤの乱れをすばやく収束させるには、長年の経験が必要です。ところが、若い社員はここを経験しないと昇職できない仕組みが作られ、二～三年の勤務での入れ替えが毎年行われています。少しのトラブルでもダイヤが長時間回復しない原因の一つがここにありま

す。ホーム上での安全問題では、多くの駅で社員を配置しない無人駅化和グループ会社への委託化が進みました。大阪駅や新大阪駅など大きな駅以外は、ホーム要員が配置されてい





### にしぞの しげみ

52歳。1978年、国鉄入社。1995年、電車運転手に（尼崎電車区）。  
現在、国鉄労働組合大阪地区本部執行委員。家族は妻と子ども二人。

る駅はほぼ無くなり、残念ながらホームからの転落事故が多く発生しています。国から非常報知装置の整備拡大などの指導があり、東西線北新地駅にJR西日本で初めて「可動式ホーム柵」が設置されました。しかし、費用やホーム形状、柵に合わせた車両形式と両数などの条件があり、全駅への導入は困難です。「一人体制」の駅、窓口や改札の「時間帯無人化」の駅も増え、乗客へのサービス低下も進んでいます。私たちは、乗客の命を守るために、また、お年寄りや障害を持った方々が安心して利用できるようにするために、ホームでの対策と同時に、必要なホーム要員の配置をJR西日本に求めています。

ダイヤの問題は、福知山線脱線事故以後、過密ダイヤとスピード重視の解消など、改善された面があります。以前は、駅の停車時間（ドアの開閉時間）はラッシュ時でも二〇秒のところが多く、常に遅れて駅を発車する状態でしたが、事故後は一定の柔軟性が出されてきました。しかし、儲け優先のダイヤ設定は現在も変わりません。たとえば、この三月から大阪駅が大きくリニューアルし、休日には新快速の二両化運転など大阪駅への集客を目的に快速電車などの本数が増えましたが、その一方で、普通電車しか停車しない駅は電車の本数が減らされ、不便になっています。

JR西日本が続けてきた大規模なリストラと労働強化、外注化の拡大による安全の丸投げと技術継承問題、労働者をバラバラにする「成果主義賃金」などは、国民のみなさんには見えません。しかし、これらが鉄道の安全輸送を脅かしていることは、私たちJRで働く労働者とみなさんの共通した課題であると考えます。私たち国労は、「公共交通機関であるJRの安全を守るためには、必要な要員の配置と設備の充実、労働条件の改善と労働者の権利が守られる職場をつくることである」と運動を進めています。

特集

# 生きる

誰もが安全・安心な社会を創ろう

「第一七回社会福祉研究交流集会in京都」からのメッセージ

写真は、開通のめどが立たないJR山田線の浪板海岸駅。  
線路横に伸びている命は、何を物語るのでしょうか

(写真：下野祇園)